

性の多様性に係る 事業者向けセミナー



令和5年度
参加費無料

県では、県民の皆さんが性の多様性について正しい理解と認識を深め、性的少数者の人が安心して生活し、活躍できる福岡県の実現を目指しています。

今回のセミナーでは、性的少数者に関する基本的な知識、当事者の目線から事業者で行ってほしい取組、企業の具体的な取組事例の紹介等、事業者の方が理解を深めていただける内容になっています。

対象者

県内事業者 各会場先着 80 名程度

日程・会場

13:00~16:00(受付 12:30~)

*当日は、公共交通機関でお越しください。

福岡県入札参加
資格審査における
地域貢献活動評価項目
(@人権・同和問題啓発研修)
対象研修

【北九州】11月6日(月) 福岡県小倉総合庁舎 (北九州市小倉北区城内)

【飯塚】11月20日(月) 福岡県飯塚総合庁舎 (飯塚市新立岩)

【福岡】11月21日(火) 福岡県吉塚合同庁舎 (福岡市博多区吉塚本町)

【久留米】11月22日(水) 久留米リサーチパーク (久留米市百年公園)

講演

「性の多様性について」



● 講師 ●
GID Link 代表
福岡県人権啓発研修講師団講師
トランスジェンダー当事者
椎太 信 氏

当事者の目線から、性の多様性に係る職場での悩みや困りごと、その解決方法やどのようなサポートができるのか、またどのように職場環境を整えることができるのか、など講演いただきます。

取組紹介

● 「性の多様性に配慮した
これからのトイレ」
TOTO株式会社
九州支社 重留 美穂 氏



● 「多様性を企業の力に変える
ダイバーシティマネジメント」
株式会社マイソル
代表取締役 CEO 福澤 久 氏
取締役 COO 阿南 由美 氏



<お申し込み方法>

右のQRコードからお申込みください。
オンラインでのお申込みができない場合は、裏面の参加申込書に御記入のうえ、
FAX または郵送にてお申込みください。



申込用QRコード



セミナーに係る
QRコード

<問い合わせ先/申込先>

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7 福岡県福祉労働部人権・同和对策局調整課

TEL: 092-643-3325 FAX: 092-643-3326



性の多様性に係る事業者向けセミナー

参加申込書



申込用 QR コード

参加申込記入欄

*当日は、公共交通機関でお越しください。

所在地			
ふりがな 会社名	*ふりがなをお願いします		
部署名			
電話番号			
FAX			
メールアドレス			
希望参加日	北九州 11/6 (月)・飯塚 11/20 (月)・福岡 11/21 (火)・久留米 11/22 (水)		
ふりがな			
氏名			

*1枚につき、1会場のお申し込みができます。複数会場を御希望の方は、会場別に申込みください。

講師紹介



● 講師 ●

GID Link 代表
椎太 信 氏

【プロフィール】 GID Link 代表 福岡県人権啓発研修講師団講師

GID 学会エキスパート研修修了・マインドフルネスプロ認定講師・心理カウンセラー
セミナーやコーチング、カウンセリング、セラピーを現職とする。2011年からトランス男性
当事者として一般社団法人gid.jp日本性同一性障害と共に生きる人々の会にてボラン
ティア活動後、2013年に新設された同法人九州支部の初代九州支部長として就任
(2013~2016年)。2016年GID Linkを設立。講師として、県をはじめとする地方自治体、
公立・県立の学校などにおいて多数講演し、性的少数者に係る啓発活動を行う。心理カウ
ンセラーとしてLGBTQや性別違和を抱える当事者及び家族、支援者のサポートや相談業務
を行う。2023年4月より福岡県レインボーホットラインの電話相談業務も担当。

<TOTO株式会社>

顧客対応



●重留 美穂 氏

2002年TOTO株式会社入社。パブリックトイレの提案部門に所属し、商業施設、オフィス等各種用途の空間提案やセミナー講師を担当。2015年より性の多様性に配慮したパブリックトイレPJに参画。性的マイノリティのパブリックトイレでの行動やニーズを把握するため、株式会社LGBT総合研究所の協力を得て、「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査」を実施。特にトイレで困ることが多いとされるトランスジェンダーをテーマに現在も小・中学校を中心とした男女共用トイレのありかたとして研究推進中。主な提案物件、福岡PayPayドーム、ポートルース福岡、太宰府天満宮他。

<株式会社マイソル>

従業員対応



●代表取締役 CEO 福澤 久 氏

●取締役 COO 阿南 由美 氏

2017年設立。「自分らしく働く多様性のある社会を実現する」という理念のもと、自社コンタクトセンターにて、社会的マイノリティの人たちも含め、個の強みが発揮できる組織づくりに取り組んでいる。LGBTQの障壁を軽減するため、求人応募時の履歴書の性別未記入や写真提出は不要とし、入社時は全員「LGBTQ研修」を受講。通称名使用や同性パートナーシップ制度(就業規則)などを導入している。また、企業へのサービスとして、LGBTQの社外相談窓口「レインボーコール」の運営を行っている。